

Keyword: 「ロシア」「人権」「VPN」「デモ」「GDP」

1. 研究の背景

ロシアのウクライナ侵攻により、多くの国々がロシアに金融制裁、輸出入規制を実施し、EUの国々は、ロシア人へのビザの発給制限をかけ始め、エストニアでは観光客や留学生の受け入れを停止した。私は、ロシア国民がかわいそうだと思います、ロシアについて探究しようと思った。

2. 先行研究の検討

まず、ロシアの経済状況はどのように変化しているのでしょうか。9月9日、ロシア連邦統計局は国内総生産(GDP)を公表によると、欧米諸国からの経済政策が効き、ロシア経済が悪くなっているということが分かる。

世界の人々がロシアを理解できない理由は価値観が違うからだと考えられる。そして、その価値観の違いは、宗教が大きく関わっているのだろう。国民の7割がロシア正教を信じ、その教えにルースキームールというキリスト教ロシア正教会を信仰する人々が居住する地域を独自の文明圏とみなす思想がある。そのため「ウクライナを取り戻せ」というような世界的には理解されない価値観を持つのだと思った。

また、ロシアでは、2019年に「主権インターネット法」が施行された。ここからロシア政府は、ロシア国内からのウェブサイトへのアクセス権限を奪えるようになった。ロシアでは、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなどのSNSや外国メディアのサイトも見ることが違法とされている。そして、監視と検閲をし、国民の自由を奪うことは人権を侵害していると思った。

3. 独自研究

ロシア経済政策の効果、抗議活動の鎮圧、宗教と政治の関わりの観点からロシアを分析した。CyberGhostVPN、GateVPNなどを使いロシア国内からのインターネット規制の状況を確認した。その結果、有料であるCyberGhostVPNは無料で使えるGateVPNよりセキュリティが高かった。一方で、ウェブサイトで禁止されてるニュース番組のYouTubeには規制はなかった。

4. 結論と今後の課題

私は、この探究を通して、ロシアのことを知ることができ、情報への自由なアクセスや言論の自由の重要性を認識することができた。また、価値観や宗教の影響がその国の政治や社会にどのような影響を与えるかを理解できた。専門家のほとんどが戦争は長引くだろうと予想している。引き続き国際社会に関心を持っていたい。

主な参考文献

島田博『現代ロシアを知るための60章』明石書店, 2022